『日本統計学会公式認定　統計検定１級対応　統計学』正誤表（１刷）

該当箇所	誤	正
28p 12 行目 分数の分母	$\pi(1+x)^2$	$\pi(1+x^2)$
36p 6 行目	ここで,	対応する実現値を x_1，…，x_K とし,
45p 4 行目	不定性があるが，対称行列に	不定性があるが，正定値対称行列に
59p 10 行目	不等式 $E_\theta[\delta(X)\|T]^2 \leq E_\theta[\delta(X)^2\|T]$ の両辺の	不等式より $E_\theta[\delta(X)\|T]^2 \leq E_\theta[\delta(X)^2\|T]$ が成り立つから
62p 2 行目	あまり本質的でない例としては,	標本の次元がパラメータの次元より小さい例としては,
64p 下から 7 行目	こういった問題	ここで，x は誤差がなく y に誤差があるモデル
69p 12，13 行目	分散パラメータの最小分散不偏推定量	分散パラメータの一様最小分散不偏推定量
72p 16 行目	歴史的な理由からであり,	モデルが正しい時に第 1 項が漸近的にカイ二乗分布に従うからであり,
79p 15 行目	ある $\tilde{\theta} \in [\theta^*,\ \hat{\theta}]$	θ^* と $\hat{\theta}$ の間のある $\tilde{\theta}$
85p 2 行目	$(\theta > 0)$	$(\theta,\ x > 0)$
89p 下から 5 行目	**第二種の誤り**という.	**第二種の誤り**（第二種の過誤）という.
90p 12 行目	x 軸	横軸
95p 3 行目	一様強力検定	一様最強力検定
107p 10 行目	検定は，n_2 が十分大きい	検定は，n_1，n_2 が十分大きい
111p 下から 3 行目	検定は，n が十分大きい	検定は，n_1，n_2 が十分大きい
113p 14 行目	$1-\hat{x}_1-\hat{x}_2$	$97-\hat{x}_1-\hat{x}_2$
132p 下から 9 行目	多くの場合	一般に
148p 問 5.2〔1〕	検結定果	検定結果
189p 中段	因子分析の 2 つの表のうち，左の表（固有値の載っている表）全体を削除	
190p 問 6.3〔1〕	回直帰線	回帰直線
224p 下から 1 行目， 225p 1，2 行目	定常な AR モデルは MA(∞)表現することが可能である．例えば AR(1)モデルの場合，この条件は $\|\phi_1\|<1$ である．この時系列モデルの自己相関関数 $\rho(s)$ は s の増加とともに指数的に減衰していく.	AR(1)モデルの場合，定常性の条件は $\|\phi_1\|<1$ である．定常な AR モデルの自己相関関数 $\rho(s)$ は s の増加とともに指数的に減衰していく．定常な AR モデルは MA(∞)表現することが可能である.

該当箇所	誤	正
225p 6～10 行目	特性方程式 $\theta(z)=1-\theta_1 z-\theta_2 z^2-\cdots-\theta_q z^q=0$ の根の絶対値がすべて 1 より大きい場合，MA(q)モデルは反転可能であり，AR(∞)として表現できる．このモデルの自己相関は q 次を超えるとゼロとなり切断された形になる．	このモデルの自己相関は q 次を超えるとゼロとなり切断された形になる．特性方程式 $\theta(z)=1-\theta_1 z-\theta_2 z^2-\cdots-\theta_q z^q=0$ の根の絶対値がすべて 1 より大きい場合，MA(q)モデルは反転可能であり，AR(∞)として表現できる．
233p 問 8.1〔2〕	$n=100$,	$n=7$,
239p 10 行目	勝負は大胆にやった方がよい．	不利な賭けでは勝負は大胆にやった方がよい．逆に有利な賭けでは慎重がよい．
245p 下から 8 行目	例えば，正規分布（$N(\mu,\ \sigma^2)$）では，	例えば，σ^2 が既知の正規分布（$N(\mu,\ \sigma^2)$）では，$\theta=\mu$ として
245p 下から 5 行目	ワイブル分布	β が既知のワイブル分布
245p 下から 3 行目	では，	では，$\theta=\eta$ として
246p 4 行目 右辺	$b''(\theta)c'(\theta)-c''(\theta)b'(\theta)/(b'(\theta))^3$	$(b''(\theta)c'(\theta)-c''(\theta)b'(\theta))/(b'(\theta))^3$
247p 6 行目	$(X^T X)^{-1}X^T Y$ で	$(X^T X)^{-1}X^T y$ で
253p 5 行目 2 つの分数の分母の根号の内部	$1+(\hat{\mu}-T)/\hat{\sigma}$	$1+(\hat{\mu}-T)^2/\hat{\sigma}^2$
279p 下から 5 行目 分数の分母	n_j-d_j	$n_j(n_j-d_j)$
288p 下から 1 行目	$1/\sqrt{2}$	$1/2$
291p 問 4.1〔2〕	$1-\beta(\mu)$	$\beta(\mu)$
292p 問 5.1〔3〕	もしくは $\rho_{xy}=0$ が成り立つこと．	もしくは $\rho_{xz}=0$ が成り立つこと．
295p 問 6.4〔4〕	$\frac{t}{n}\pm\frac{\sqrt{t}}{n}=1.052\pm0.295$	$\frac{t}{n}\pm\frac{1.96\sqrt{t}}{n}=1.052\pm0.205$
296p 問 7.2〔3〕 下から 3 行目	d_i*	d_i^*
297p 問 8.1〔2〕 1 行目	正の二項分布	正（$x\geq1$ と条件がついた）の二項分布
297p 問 8.1〔2〕 2 行目	$n=100$,	$n=7$,